

(1) 令和5年度の主な利用数値

□登録団体	：329団体 (新規登録10件、解散3件、前年度比+7団体)
□入館者数	：43,370名 (月平均3614名、前年度比 +6355名)
□相談件数	：436件 (前年度比 -93件)
□問い合わせ件数	：204件 (前年度比 -54件)
□会議室利用数	：366件 (前年度比 -36件)
□持ち込みイベント日数	：183日 (前年度比 -15日、利用団体+2、イベント数+17)
□器材貸出し件数	：312件 (前年度比 -72件)
□ホームページアクセス数	：62,662件 (前年度比 -13876件)
□登録団体記事数	：976件 (前年度比 -609件)



↑団体持ち込みイベント
「ママとこころの遊園地」準備の様子

「持ち込みイベント」には啓発展示も含まれていますが、コロナが落ち着いたことから、座談会やワークショップといった参加者が集えるイベントが増加しました。また、SNSを利用して情報を発信する団体も増え、さまざまな媒体を通して活動を知ってもらえるようになりました。

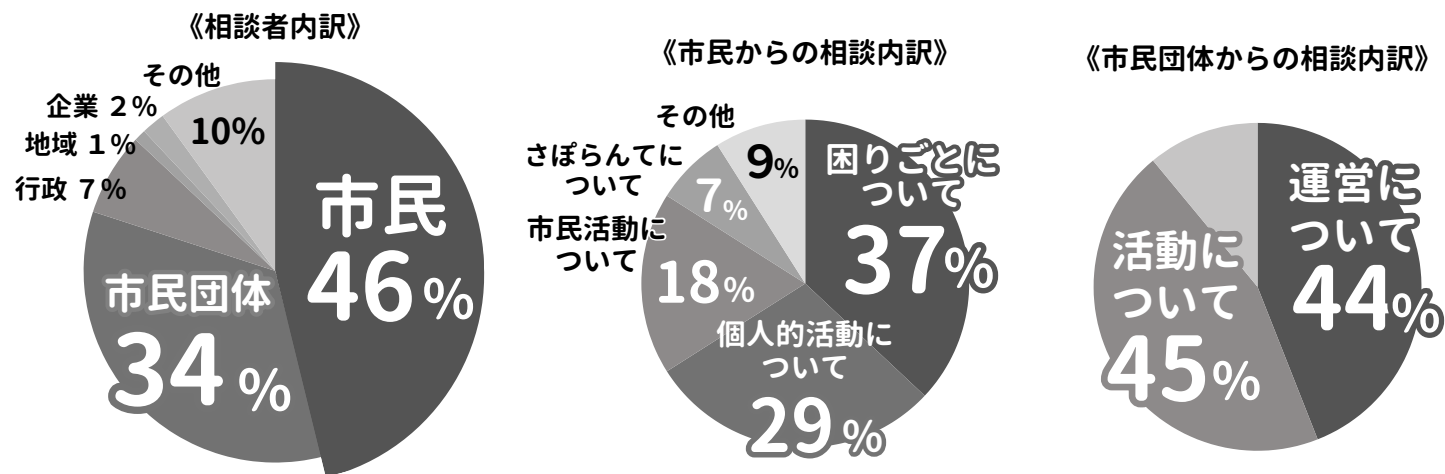


(2) 相談

さぼらんての基本支援は相談です。令和5年度は622件の相談があり、そのうちの289件は市民から寄せられています。5月には新型コロナウイルスが5類に移行したことから、団体からの相談増加に伴い、市民からの市民活動に関する問い合わせも直近4年間で最多となりました。

市民からの相談は「困りごとについて」が最も多いですが、その半数以上を占める「犬猫についての相談」は減少傾向にあります。また、増加した「市民活動について」は、団体活動を理解したうえで参加したいという問い合わせが多く、いずれも団体活動が市民に認知されてきていることがうかがえます。

市民団体からの相談は、運営面では資金調達や組織の見直し、活動面では特に他団体との協働・連携に関する相談が多く寄せられました。より多角的な視点から社会の中の課題を捉え、解決しようとする機運が高まっていることがわかります。



4年余り続いたコロナ禍は日頃の生活だけではなく、市民活動団体の皆さんの活動にも様々な影響を与えたと思います。マスクやアクリル板だけでなく、行動にも制約がかかり、市民活動が最も大切とする、人と会って話すこと自体が躊躇される時期が続きました。しかし、今年は新年早々、ニューヨークタイムズ紙が山口市を「世界3位」として取り上げてくれるといううれしいニュースが飛び込んできました。このチャンスをみんなで楽しみ、素晴らしい山口市とそこに住む人たちが生活を思い切り、発信していきましょう！

センター長 児玉 頼幸



令和5年度(2023年度)事業報告ダイジェスト版 (発行：令和6年6月1日)

山口市市民活動支援センターさぼらんて

〒753-0047 山口市道場門前2-3-6 どうもんビル1階

■TEL：083-901-1166 ■FAX：083-901-1165 ■MAIL：info@saporant.jp

ホームページは
こちらから▶



山口市市民活動支援センターさぼらんて 令和5年度(2023年度) 事業報告 ダイジェスト版



パートナーシップで社会課題の解決を目指す！

令和5年度は、より多角的な視点から社会課題を捉え、その解決に向けて連携できるよう多様な主体や世代が集う場のコーディネートに注力しました。また、市民が団体活動を知るきっかけづくりとして、SNSを中心とした情報発信にも力を入れました。令和6年度も市民一人ひとりがそれぞれの強みを活かし、小さな「できること」を積み重ね、社会を変えていく土壌づくりに貢献していきます。

多様な主体で「COOL CHOICE チャレンジコンテスト」

SDGsという言葉の浸透率は年々上昇しているものの、行動に移している人はまだまだ少ないという現状*を変えていくため、さぼらんてでは「行動の10年」として、多様な主体と協働し、誰でも気軽にアクション出来る企画を実施しています。令和5年度は「環境」をテーマに、日常生活で工夫しているエコな取り組みを発信する「COOL CHOICEチャレンジコンテスト」を開催しました。(*参考: 朝日新聞社「第10回SDGs認知度調査」2024年)

円卓会議 (8月)



企業・市民団体・行政でそれぞれの環境に配慮した取組を共有し、SDGsイベントの中身を一緒に考えました。企業からはイベント賞品の提供もいただきました。

コンテスト実施 (10～12月)



「COOL CHOICEチャレンジコンテスト」を通して、市民が日常生活で工夫しているエコな取組を紹介。合計147件の取組が寄せられ、うち10作品が入賞しました。

振り返り企画 (2月)



協賛企業の紹介で「全国ご当地エネルギー協会」が主催するカードゲーム「脱炭素まちづくりカレッジ」を開催。市民・企業・市民団体・行政・中間支援機関から総勢24名が参加しました。

多様な世代で「高校生・大学生リーダー育成事業」

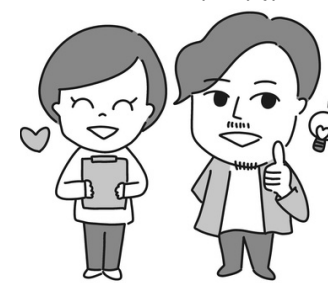
市内在住あるいは通学する高校生を対象に、高校生の自信と責任を育て、より広い視野を持つ次世代のリーダーの育成を目的としたPBL(課題解決型学習)を実施しました。今年度のテーマは「湯田温泉パークの活用」。令和7年度に設立される湯田温泉パークに若者が集う仕掛けを高校生が中心となって考え、それを大学生や社会人のメンターがサポートしました。

高校生 (10代)



社会の課題を見つけ、その解決策を提案します。

メンター (20代)



大学生や社会人が高校生の探求をサポートします。

大人 (30代～)



事業の運営や、スキルアップ講座を担当します。

普及啓発のための情報発信

■『ええやん新聞』の発行

『ええやん新聞』は子育て世代向けの市民活動情報紙で、年に2回、各号30,000部を発行し、市内の小中学校や地域の回覧板を中心に配布しています。令和5年度は「働き方」をメインテーマに設定し、28号では「自分らしい働き方」、29号では「やりがいを持って働くこと」について発信しました。



スマホで読もう！

『ええやん新聞』はオンラインでもご覧いただけます！▶



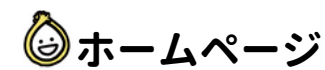
もっと楽しむなら

Instagramでは、取材の裏話や載せきれなかった情報を大公開！▶



■ホームページ・SNSを活用した情報発信

各SNSの強みやユーザー層に合わせて、市民活動の普及啓発を目的とした情報発信を行っています。また、ホームページもプチリニューアル！必要な情報によりアクセスしやすくなりました。ぜひぜひご覧ください♪



まずはこちらをご覧ください。



ボランティアを探すなら！



館内イベント情報はこちらから♪



旬な出来事をいち早くゲット！



知るから
やってみる！へ

若い世代の活動促進

■若者の社会貢献コーディネート事業

社会貢献に関心のある大学生7名と被災地復興支援のための「チャリティ屋台」をちょうちん祭りで出店しました。

■インターンシッププログラム

山口県インターンシップ推進協議会を通じて、夏季に2名の大学生を6日間受け入れました。市民活動やそれに携わる人を知ってもらうことを目的としたプログラムを盛り込み、実際にボランティア活動にも参加してもらいました。

■ボランティア入門講座の実施

山口大学、山口県立大学の新一年生を対象とした講義に「ボランティア入門講座」を出前講座として実施しました。139名の大学生に、市内で取り組まれている市民活動やボランティア活動、活動を通じて広がる可能性や人とのつながりについて紹介。市内を拠点に活動する2団体も登壇し、目の前にある社会課題やその解決のための活動について発表していただきました。

■学生PBL(課題解決型学習)の協力

山口芸術短期大学と山口高校のPBL学習をサポートしました。それぞれ「市民活動の推進」「中心商店街の活性化」をテーマに設定、さぼらんてはメンターや情報提供者として、学習に携わりました。



円卓会議

円卓会議とは、行政や団体など多様な主体が社会課題の解決に向けて話し合う会議のことです。令和5年度はさぼらんての企画テーマだけではなく、団体からの持ち込みテーマもあり、さまざまなテーマでの話し合いが積極的に行われました。

■学校に行かない子どもの居場所づくり円卓会議（全2回）

山口県こども食堂・こどもの居場所づくりネットワークと協働し、県内で学校に行かない子どもたちの支援活動に携わる市民団体、個人、教育機関が話し合う場をコーディネートしました。フリースクール全国ネットワークの代表理事である江川和弥さんにご参加いただいた他、約40名の聴講者に見守られながら、学校に行かない子どもたちを取り巻く課題や解決のための連携策について話し合いました。その後、市内の支援者とフォローアップ会議を開き、より具体的な支援策について意見交換しました。

■生理サミット in 山口（全2回）

ひとり親家庭を支援している団体「I.Style(ドットスタイル)」からの持ち込み企画。「生理の貧困問題」を起点に、性の悩みに対応できる社会の実現を目的として開催しました。第1回は生理に困りごとを抱える当事者が集い、困りごとを共有。第2回はその困りごとを解決するために支援者の意見交換を行いました。今後は多様な性を受け容れられる社会を新たなネットワークで実現していきます！



■外国ルーツの子ども支援ネットワーク会議（全1回）

昨年に引き続き、外国にルーツを持つ子どもとその家族が多く居住している平川地域の学校関係者や市民団体、教育機関等が集まり、現状や課題を共有する場をコーディネートしました。令和5年度は有志で実行委員会を結成し、県内の支援者のネットワーク構築を目的とした研修会を企画・実施。約60名の参加者とともに学びを深めるとともに、ネットワーク会議も自走し始めました。



■団体スキルアップ講座

- ・寄付先にも選んでもらうための実践型ワークショップ
- ・Googleフォーム活用(入門編)
- ・Googleフォーム活用(デザイン編)
- ・Googleフォーム活用(カスタム編)
- ・デザイン基礎講座
- ・文章&デザイン基本講座(文章編)
- ・文章&デザイン基本講座(デザイン編)



令和5年度は「団体活動を伝える」ことをテーマとした講座を4回、事務力アップ講座を3回実施しました。「デザイン基礎講座」では、PBL（課題解決型学習）の一環として、山口芸術短期大学の学生が参加団体に色や文字のバランスといったデザインの基礎をレクチャー。最後は見やすいチラシ作成に挑戦しました。

登録団体の皆さまへ LINEで「団体お役立ち情報」をゲットしよう！

さぼらんてでは令和5年度より、助成金情報や講座情報といった「団体お役立ち情報」をLINE公式より配信しています。代表以外の方もご登録いただけますので、ぜひ団体の皆さまで情報をゲットしてくださいね！



①QRコードから「お友達登録」



・お名前
・所属団体

②トーク画面に、お名前と所属団体をお送りください

